

令和3年12月16日

「みんなが楽しく暮らせる町に！」校区人権フォーラム開催！！



次第に緊張がほぐれ、思ったことを真剣に話し合う様子。中学生のリードが素晴らしい☆

12月9日（木）は鈴峰中学校区の「人権フォーラムれいほう」が開催されました。今年度のフォーラムは、誰もが安心して過ごしやすい暮らしをするために、人権を視点に自分たちでできることは何かを、小学校の6年生と中学校の2年生が中心となり、地域から学校運営協議会委員のみなさんとともに、いろいろな視点で話し合いを深めました。椿小学校からは代表として、市川未徠さん、中川心優さん、村上千紗さん、岸本夢愛さんの4名が、各分科会に分かれて意見を交流しました。みんなって誰の事？楽しく暮らすとはどうい

うこと？…と意見を出し合い、付箋を利用し考えを練り上げていきました。参加した子たちからは、「自分と違う意見がたくさんありました。自分の思っていることが言えてうれしかった。」「自分のクラスでは出ないような意見が出て、すごく勉強になりました。緊張してはいたけれど、何でもできるぞという気持ちになって、終わったときに『楽しかった～』と思えました。」「人の意見に共感したし、話すことは楽しい。」と、活発で充実した時間を過ごすことができたようです。



◆◇自分たちにできること…参加者の感想、まとめより◆◇

- あいさつやいろいろな人と話す機会が大切だ。
- 話したいすると友達ができていくから笑顔が増えていく。
- 互いのことをよく知ることが大切。
- 現状を知ることが大切。
- 障がいを持っている人、高齢者、妊婦さん、外国にルーツのある人、病気のある人、性的マイノリティーの人、子ども…など、いろいろな立場に立って考えること。そのための施設も充実させ、環境を自分たちでよくしていかななくてはならない。



地域の方からは、「地域の大人たちも子どもたちと同じように考え、いい町づくりをしたいと考えているので、一緒にやってほしい。」「学校と地域との交流の機会として、行事があることは互いにとってとても大切。ぜひ続けていきたい。」などのお話をいただきました。

☆人権ツリーが昇降口に登場しました☆

児童会からの呼びかけで、「みんなが楽しく過ごせる学校になるために」を目標に、人権に関する標語やメッセージを集めて、ツリーを作りました。星形のカードには「あいさつは人を元気にさせる」「ありがとう。大切な言葉」「広めよう心の笑顔、優しさの花」「誰かを思うその心、誰かを幸せにさせてくれる」「みんな平等、でも個性はそれぞれ」などなど、思い思いの温かい言葉が書かれています。

人権フォーラムでもありましたが、「認め合う」「尊重し合う」ことは、人とのかかわりで一番重要です。そのために「互いを知る」きっかけとしての「あいさつ」、人とのかかわりを円滑にする手段として「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉があります。これは大人でも子どもでも一緒に、とても大切なことだと思います。幼いころからの習慣づけで、必要な時にさっと心からそんな言葉が出るようにしていきたいです。



2年生の「椿花いっぱい運動」チューリップの球根植え



地域の方に丁寧に教えていただきました

「もう、お家でもできるね！」地域の方から声を掛けられ、はりきった子どもたちは、残りもあっという間に植えてしまいました。シカやイノシシの被害から防ぐための柵囲いもして、終了。来年の3月にはそろってきれいな花を咲かせてくれるでしょう。

地域のみなさん、貴重な体験学習と交流の場を作っていただき、ありがとうございました。

12月10日（金）に2年生が町づくり協議会の方たちのご指導のもと、子ども会、ボランティアさんとともに、地域の畑にチューリップの球根を植えさせていただきました。大小様々な球根がおおよそ800個。指で土に穴をあけて、球根の高さぐらいの深さにそっと押し込んで、土をかけてやりました。



🎮3年生のプログラミング学習🎮

3年生は、プログラミング学習で、いもむしロボットに指示を出し、スタートからゴールまでたどり着けるようなプログラムを組むという学習をしました。指示はPCに



ゴールまでたどり着けるのか??

1マスごとに「進む」「右に曲がる」の組み合わせを入力し、動きをつけていきます。自分の仕組んだ指令が、本当にロボットに伝わったかを確かめるのに、わくわくしながら取り組んでいました。見事ゴールにたどり着いた時は思わず歓声が上がっていました。生まれた時からゲームやスマホに囲まれた子どもたちは、PCの扱いもみるみる上達します。

